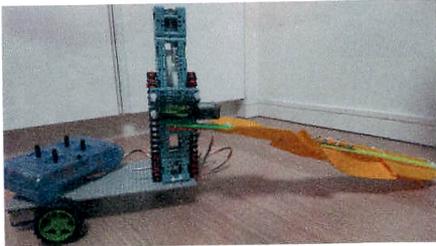
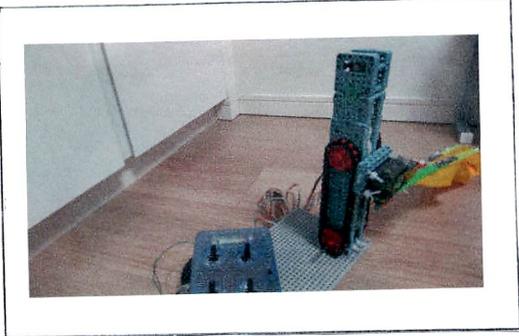
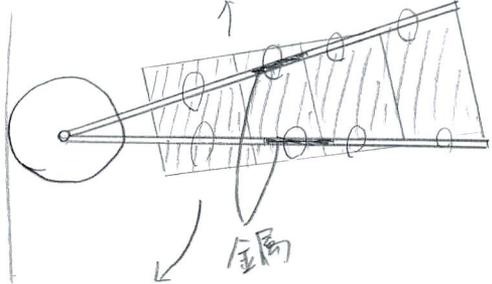


この作品はクリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンスの下に提供されています。

ROBOCON REPORT 2021 by Young Maker

<p>学校名</p>	<p>埼玉大学教育学部附属中学校</p>		
<p>(ふりがな) チーム名</p>	<p>てー けー ー T . K . G</p>		
<p>ロボコンルール (名称とURL)</p>	<p>名称: 新型コト撲滅オペレーション https://sites.google.com/view/digitalclassroom-technology/%E5%AD%A6%E7%BF%92%E8%B3%87%E6%96%99%E9%9B%86/%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AF%E3%83%BC%E5%A4%89%E6%8F%9B%E3%81%AE%E6%8A%80%E8%A1%93</p>	<p>都道府県名</p>	<p>埼玉県</p>
<p>製作期間</p>	<p>2020年9月頃から2020年12月頃まで</p>	<p>製作時間</p>	<p>10時間</p>
<p>ロボットに関する写真と図</p> <p>必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を1~4枚で掲載する。</p> <p>写真や図に記号等を書き込み、下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説する。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
<p>ロボットのアイデア概要 【報告書要約】</p> <p>どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか、枠いっぱい解説を書き込むこと。</p>	<p>このロボットはカフェのテーブルを「早く、丁寧に」拭くことを特に意識して制作した。布で拭く部分は一本ではなく二本うでにして、布全体がテーブルに密着するようにして、パーツとパーツをつなぐ部分は金属のものを使いより丈夫になるようにした。うで自体をプラスチックのものを使ったのは布やキアボックスとつなげやすかっただけでなく、うでの部分は布や金属、ねじの重エにより折れてしまうことを防ぐためしなりがあるプラスチックを使った。うでの上はテーブルの高エの差があまりなかったため、ベルトの長エを短くして、上下あるおたな肘間を小さくするようにした。また、最初上下ベルトをつくたときは上下するスピードが速すぎたため、長エやベルトの張り具合を調節して、操作しやすいちょうどいいスピードに調節した。布うでや部品と部品をできるだけねじで、難なくでもお束バネをカマウーとで破壊を防ぐ。このように長うでを回車おせて式にことで効率よくテーブルを拭けるように工夫した。</p>		

参考資料

先輩の作:

- ・モーターの回転を直接ロボットの駆動として利用する... A
- ・エレベーターコンベア-の仕組み... B



報告書の2枚目以降にさらに詳しく自由フォーマットで記入する。この用紙を入れて11枚以内で報告書を作成すること。